

市政を問う 平成20年第4回定例会 一般質問質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項および答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

2小校長の事件を乗り越え 信頼回復に全力を

市民サイド **釜我 健二**

釜我 2小校長の事件は、子どもや先生方の心を傷つけ信頼を失墜させた。教育委員会は全力で信頼回復に努めてほしい。そこで今回の事件の責任と再発防止に対する教育長の考えを問う。**教育長** 責任は私が負う。手続を踏んで示す。また、他部局の協力で再発防止委員会を考える。**釜我** 21年度、全校に学校図書司書5日常駐を。**市長** 全校配置の考えだ。21年度中かは検討中。**釜我** 今回の給食費助成で保護者負担の変化は。**教育長** 回数増の分を除き給食費の変化はない。**釜我** いずみホール及びスポーツ施設は4月から指定管理者の運営だが、サービスの不十分さ、市民利用枠の減少、市民主体運営の後退が指摘されている。これらは早急に改善すべきだ。**市民生活部長** 課題でもあり、検討したい。**教育部長** 市民活動の保障の立場で努力する。
周産期救急医療の早期改善を
釜我 周産期の妊産婦が救急医療体制の不備等で死亡する事故が続発しており、多くの妊産婦が重大な不安を感じている。市長は大至急、救急医療体制の確立を強く求めるべきだ。**市長** 現況は極めて深刻だ。市長会を通じて都に要望することが重要だ。しっかり対応する。**釜我** 反対が多い定額給付金に市長はNOを。**市長** 地方分権なら違うやり方もあると思う。

ただひたすら健やかに 暮らしたいと思います

無会派（新和会） **いとう 太郎**

1. まず、市内の事業者に対しての緊急対策の融資制度の詳細についてお伺い致します。**市民生活部長** 新たに融資制度を設けました。金利・保証料を市が全額補助します。そして既存の市の制度を受けている方でも別枠で500万円まで借入れが出来ます。
2. 約1年前に伺った市内の事業者に対する地域振興を含めた入札制度のあり方の現状は？**総務部長** 12月1日から実施する制度として、地域要件・評点・経審を一定程度下げること、市内の事業者が参入しやすい制度に直します。
3. 真の都市型循環社会の構築に向けて？
①おから等が産業廃棄物として処分されているのを耳にしますが、当市での対応は？**環境部長** 市内業者から一か月に80kg搬入されていますが、ウッドチップと混ぜて堆肥と一緒にする原料にしています。
☆おからは低カロリーで食物繊維も豊富ですので、学校でレシピを工夫し活用して頂きたい。
②学校給食の残さを学校に戻し教育の一環に！現在小学校10校の内5校にストックヤードに運んでいます。ディスプレイは臭い・振動・音などの課題がありますが、食育の一環として、学童農園などで学校で堆肥を活用して頂きたい。**教育部長** 環境部と協議し最適な方法を探す。

学校と地域による 児童育成について、他

市民サイド **森 喜行**

●学校と地域による児童育成について…児童が巻き込まれる事件の増加、凶悪化により子育ての現場における地域への不信感、警戒感が増し、また少子化も進むなか「街なかの学びの機会」が衰退する現実を指摘、学校という空間に囲い込むやり方の小学校の放課後子どもプランの運用に地域の多世代交流の視点を重視するよう求めました。併せてその教育内容の客観性、中立性をどう図るのか、問い質しました。また、セーフティ教室では防犯面だけの警察の指導に任せるだけでなく健やかで人間的な児童育成という学校としての教育的視点も加味したプログラムを警察と話し合っ組みよう求めました。更に当市の地域特性を指摘、災害時における両親不在家庭への児童引渡しボランティアについての市の考え方についても問い質しました。
●文化施策について…いずみホールの運営が指定管理者に移ったことで、市民手づくりのイベントが様変わりした。いずみ春の祭典での参加団体間の協働、連帯の機会が失われたことは深刻な市民文化の後退だと指摘、早急にこの祭典の運営を市民の手に戻すよう求めました。また内藤地域センターが近隣からの苦情により、二階の一室を楽器不可とした件について、その対処の仕方に疑問を呈しました。

行政トラブルの対応に 法務部門の充実を図れ

自由民主党市議団 **井沢 邦夫**

1 増加する訴訟事件や契約トラブルに対応できるように法務部門の充実を急いで欲しい
(井沢) 全国6割の市で訴訟事件をかかえており、市財政を脅かしかねないケースもある。住民意識や社会情勢の変化に対応し、法務職員の養成や庁内法的業務の一元化を図るべき。**(担当部長)** 平成19年度は市民法律相談35件、訴訟は現在4件係争中であり増加傾向。
2 西国分寺駅東側交通広場の有効利用をはかれ
(井沢) 「朝市」など市民の利便に供すべき。**(担当部長)** 西国分寺駅北口自転車駐輪場の整備工事をする際の代替用地及び国分寺駅南口のタクシー安全対策として、待機所を予定。**(井沢)** タクシー待機所は有料で収入をあげよ。
3 図書館不在地域の学校図書館を開放せよ
(教育長) 放課後・休日開放に向けて、人の配置や児童の安全管理に考慮しながら検討したい。
4 自治会・町内会の役割の再認識と地域活動へ
定年退職者の参加と会長後継者育成へ支援を
5 不正防止に向けた庁内チェック体制を強化せよ
6 市長は山積する課題を今後どうするのか
(井沢) 行財政改革や大型事業はまだ道半ば、来期の予算編成を含め自らの手で行なうのか。**(市長)** 今後とも約束した課題を実現できるように引き続き努力していきたい。

西国分寺駅北口駐輪場 増設決まる！

公明党 **さの 久美子**

1. 子育て支援策 ファミサポの援助会員を増やす対策が必要。また、市民ニーズの高い「子育てふれあいブック」の早期作成を望む。**市** 市報での広報と今年度中の作成を目指す。
2. 子宮頸がん検診について「子宮頸がんは予防できるがんである」との具体的な広報が受診率向上につながる。20代の人への周知のために、成人式も視野にいれては。**市** 一番重要なのは「予防ができる」という視点。意見を参考に、市報掲載・HPアップなど来春をめどに実施してまいりたい。
3. 西国分寺駅北口自転車駐輪場について
収容台数を早期に増やすべき。進捗状況は。**市** 隣接土地所有者と年度内契約の目途ができた。21年度内に整備工事終了予定。2段ラック方式で900台増の2600台収容へ。
4. 安全・安心のまちづくりについて
生産緑地からの土砂流出防止の為、土留め設置を市主導ですすめ、安全対策をはかるべき。**市** 土盛り申請時、適切な管理指導を行なう。
5. 環境問題 地産地消 フードマイレージの観点から地産地消は環境に優しい。もっと農産物直売所のPRをすべき。PRの人的サポートには、シニア世代から人材発掘を。**市** 市民農業大学卒業生登用等、課題としたい。

市民生活を守る視点での 来年度予算編成を

公明党 **木島 たかし**

●来年度予算編成方針について
問 市民生活への影響の大きい北口再開発の総事業費縮減へ全力を。
答 一步でも縮減に結びつける取り組みをし、事業が成立する仕組みをつくっていく。
問 増加傾向の超過勤務手当を削減し、行政改革の推進を。
答 各課の業務量を精査して、効果が得られるよう、職員の再配置を含めて取り組んでいく。
問 耐震診断の結果次第で生じる公共施設の耐震化は、命を守る施策として果敢に対応すべき。
答 優先順位をつけずにスケジュールの前倒しができるよう調整したい。
問 予算編成過程の透明化・公開に取り組み、市民の信頼を得られる努力をすべき。
答 公開が基本的な姿勢だが、難しい課題も。段階的に進むようにしていきたい。
●地域バス（ぶんバス）について
問 新規路線候補の万葉ルート（史跡周辺）、北町、東恋ヶ窪周辺は共通して道路が狭い。小型サイズでの運行も視野に入れて検討すべき。
答 一刻も早い運行のために検討していく。
問 財源確保のために、バス事業者と協力して積極的に収益を上げる努力をすべき。
答 利用者の拡大を目指して取り組んでいく。